

# 1. 調査報告概要表

作成日平成 21年 2月 19日

## 【評価実施概要】

事業所番号	( 評価機関で記入 ) 3470103593
法人名	有限会社 ふじなか
事業所名	グループホーム 白光の家
所在地	広島市安芸区中野4丁目11 - 15号 (電 話) 082-893-6610
評価機関名	特定非営利活動法人医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4-46-9
訪問調査日	平成21年2月19日

## 【情報提供票より】( 年 月 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成	15年	9月	1日
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18	人
職員数	22 人	常勤	9人, 非常勤	13人, 常勤換算 4.3

### (2) 建物概要

建物構造	準耐火構造造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	46,000 円	
敷 金	有( 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 150,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	500 円
	夕食	700 円	おやつ	円
	または1日当たり	1,600 円		

### (4) 利用者の概要( 2月 3日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	5 名	要介護2	2 名		
要介護3	5 名	要介護4	5 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 90 歳	最低	61 歳	最高	101 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	安芸市民病院・藤中医院・阿部歯科医院・京デンタルクリニック
---------	-------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム白光の家は、近隣に樹齢100年の桜や、敷地内に畑や施設長の庭園があり、四季の花々をいつでも散策でき、入居者の外出の楽しみとなっている。ゆっくり、のんびり、穏やかにその人らしく過ごすを独自の理念・方針・目標とし実践している。主治医があらね24時間体制で見守りがされご家族、入居者の方は安心・信頼している。地域と設立者が深いかわりを持ち信頼されるホームである。レクリエーションを毎日実施され、利用者の皆さんが自力歩行できるように取り組まれている。食事介助なしで「自力で食べる」を実践しており、職員は自立支援で見守り、自分で出来ることを伸ばそうという思いやりや気づかひの姿勢が窺えました。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での主な改善課題として、終末期のあり方についての取り組みは、職員全員で検討を重ね対象者が出て来ても良いように準備している。災害対策については、職員と利用者全員で年2回実務訓練を行い災害に備え取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者は評価に積極的に取り組み、職員よりアンケートを行い結果を集計し、意義や目的を全員に周知をはかっている。自己評価による気づきをもとにケアの質の向上に努めている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、ホームへの理解をいただくために2ヶ月に1回開催され、ホームの日常生活や活動状況の説明が行われている。利用者のご家族や地域の方々の質問・意見・要望等が出され活発な意見交換が行われ検討事項や懸案事項について課題解決に向け継続検討が行われている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	ご家族の訪問回数も多く玄関口にご意見箱を設置し家族が面会時には、利用者の近況を伝え要望や意見を聞き、ホーム運営に反映させる体制が取れている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域住民の一員として町内会に加入し地域の行事に参加されており、亥の子祭りや、獅子舞祭りがこられたり、日常的に隣近所や地域の方とふれあい交流している。ホームへはボランティアの方の大正琴の演奏や演芸の訪問があり、また交流のあとの反省会では介護方法について話され地域との情報交換の場所となっている。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	( 評価機関で記入 ) 3470103593	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者がその人らしく生活していくための理念について職員全員で話し合い、また職員にアンケートを実施し事業所としての基本理念を作成している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム入り口に理念が掲示されており、日常業務の中でも話し合が行われ、理念の実現に向け日々職員全員で取り組んでいる。		月間・週間の身近な目標を立て、更なる質の府中向上に向けて取り組みをされることを期待します。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の獅子舞踊りや、亥の子祭り等地域の行事や、サロンに参加し地域の人々との交流を活発にしている。歌や、踊りやボランティア活動の記録を「白光の家だより」として作成し、隣接の藤中医院に掲示している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者・管理者・職員は、サービス評価の意義や目的について職員一丸となって取り組み、自己評価による気づきや外部評価結果を基にケアの質の向上に努めている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の様子や行事について、運営推進会議で包括支援センター・行政・家族も参加し、内容を報告してサービスの向上に活かしている。		

グループホーム 白光の家

外部	自己	( 評価機関で記入) 3470103593	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の介護保健課や、包括支援センターと連絡を取り、サービスの質の向上に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	2階建ての		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関口に意見箱や記載用紙を設け、意見や苦情等あれば記載できるようにしている。また来訪時や運営推進会議の席で家族に、率直な意見を聞き施設の運営に反映している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動は1階2階ともに移動を出来るだけ少なくするように配慮している。離職がないように管理者はやりがいのある職場作りに取り組んでいる。やむを得ない場合は、利用者に影響が出ないように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間研修計画をたて新人研修や現任研修が実施されている。内部研修や外部研修参加も積極的にされ研修報告書を全員で回覧し意識の向上に努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム長会議や社協主催等の研修会に参加し、情報交換しながらサービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	( 評価機関で記入) 3470103593	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前の見学や利用者の家庭への訪問をしたり、家族と相談しながら、利用者がなじめ安心して生活できるように一人ひとりに合った方法で対応している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の暮らしの環境に配慮しつつ、長い人生の経験から得られた知識や姿勢を大切に、本人の残存能力を引き出す支援を職員とともに協働し支えあう関係を築いている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は日常の生活の中で入居者の希望や思いを聞くようにしている。またホーム独自のフェースシートで本人の意向や思いの把握に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者の日々の関わりの中、本人の思いがかなえられ、行動が落ち着かれるよう、3ヶ月ごとに本人・家族・介護士と話し合い介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に一度介護計画の見直しを行い、状態に変化があった時には、その都度家族や関係者と話し合い介護計画の見直しを行っている。</p>		

グループホーム 白光の家

外部	自己	( 評価機関で記入) 3470103593	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族・利用者の希望する医療機関への受信や通院支援を行っている。また家族で通院される方もあり、柔軟な対応がとられている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	設立者が協力医で、隣接した所に医院があり連絡調整している。医師が週2回回診を行い異常の早期発見に努め、家族との連絡・報告・相談に応じている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	いつでも対応して頂ける協力医院の医師の指導の下、重度化や終末期のあり方について話し合わせ、状況に応じた対応が出来るよう備えている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	毎日の生活の中で利用者の誇りを損ねることのないよう言動に注意し、さりげない介助や誘導に心がけ利用者のペースに合わせてゆっくりと支援している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の基本的な流れはあるものの利用者の一日のペースを大切にしている。また職員の支援を必用とする利用者には、その人らしさを大切にした支援に努めている。		

グループホーム 白光の家

外部	自己	( 評価機関で記入) 3470103593	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	週に一度は利用者の希望を聞き、食材の買い出しと一緒に出かけ、刺身やお好み焼き等調理を職員と一緒にしている。。昼食会を設け同じテーブルで職員も食事をしながら話しをし、利用者への声かけや介助が行われており食事の雰囲気も和やかである。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に応じて職員が入浴介助をしながら、ゆっくり入浴を楽しめるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の個々の楽しみ事、得意なことを把握し、その人らしさを発揮できるよう支援している。活け花・花の水やり・片付け・掃除など無理強いしないよう支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くに公園があり、ホームの周りの散歩やテラスでのひなたぼっこ、庭で花木の観賞の支援をしている。ホーム内だけで過ごさず買い物やドライブなどに出かける支援をしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、玄関も居室も鍵はかけていない。出かけられる方もいますが、センサーが感知し職員が見守りをしている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て年2回火災・防災訓練を行い、職員と利用者が実際に全員避難訓練を行い、安全に非難できるよう取り組んでいる。		

グループホーム 白光の家

外部	自己	( 評価機関で記入) 3470103593	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	常に利用者の身体状況を把握し、栄養カロリーの計算された食事を提供し、水分も一日1500cc摂取することで不足しないよう配慮し支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関は開放されており、家族も地域の方々も気軽に訪問できる雰囲気作りがされている。食堂の椅子には転倒防止の工夫が手作りです。居間には、足置き台を手作りし身体機能に考慮した安心・安全仕様の形態になっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の居室には、カレンダーや、写真・似顔絵・使い慣れた家具や生活用品が持ち込まれ、居心地の良いその人らしい部屋になっている。		